

平成25年度予算と 町の財政状況



▲施政方針を表明する宮内町長

3月の岡垣町議会第1回定例会で、平成25年度の当初予算が可決されました。

今回の特集は、平成25年度の宮内町長の施政方針と当初予算の内容を紹介するとともに、町の財政状況について考えます。

施政方針(要約)

国においては、昨年12月に誕生した新政権による「アベノミクス」と呼ばれる大胆な経済政策が展開されており、株価の回復や円安傾向などにより、景気は一部下げ止まりの兆しも見られます。その成果が雇用や個人消費に拡大し、地方にも波及していくことに期待しているところです。

岡垣町においても、国の予備費や緊急経済対策に伴う補正予算に呼応して、平成25年度以降に予定していた事業の一部を平成24年度の補正予算に計上しており、切れない予算により地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。

施政方針

平成25年度のまちづくりの姿勢

宮内町長の2期目の町政運営において、これから4年間の任期の中で取り組んでいく新たな5つの約束の基本的な考え方

■子どもたちが健全で豊かに育つための環境整備

未来を担う子どもたちの健やかな成長は、町に元気を与え、将来の岡垣町のまちづくりにつながるものと考えています。そのため、子どもたちが学力、豊かな心、体力を備えた個性あふれる人材に育つよう、家庭や地域、学校が一体となった取り組みを進めるとともに、安全に学べる教育環境や安心して子どもを産み、育てることができる環境を整備します。

■みんなが安全安心に暮らせるまちづくりの推進

近年では、東日本大震災や九州北部豪雨など全国的に激しい災害が発生しており、町民の皆さんが安心して暮らせる災害に強いまちづくりを進めていきたいと考えています。また、岡垣町の更なる発展に向けて、安全で住みやすい都市基盤を整備し、その機能を高めるまちづくりを進めます。

■岡垣町のすばらしい

■森林・地下水・海を守り

■環境にやさしい町づくりの推進

先人から受け継がれた貴重な財産である岡垣町の花・山・川などの豊かな自然環境を守り、育み、

後世に引き継ぐための取り組みを実施します。そして、深刻な地球温暖化やエネルギー問題に対応するため、環境負荷の少ない資源循環型社会を目指した取り組みを進めます。

■福祉の充実と健康で生きがいの持てる暮らしの支援

岡垣町では、全国平均よりも高い水準で高齢化が進んでいるため、一人暮らしや高齢者のみの世帯を地域と行政で守る体制づくりに取り組めます。また、町民の皆さんが住み慣れた地域で、健康で生きがいを持って暮らせるような健康づくりや生涯学習活動を推進します。

■駅南側周辺整備・地場産業の育成と企業誘致の推進

他の地域からの流入人口を増やすため、町としての魅力を高め、町民の利便性を向上させる取り組みとして、交通の結節点であり、商店や病院、公共機関等が集積する海老津駅周辺の特性を生かした中心市街地の活性化と駅南側開発を促進します。また、農業、漁業、商業、観光など多様な産業の魅力を生かした振興と環境にやさしい業種の企業誘致に向けた取り組みを進めます。

以上が、私のまちづくりに対する基本姿勢であります。町制50周年を新たな出発点として、岡垣町が持つ素晴らしい魅力をさらに発展させ、将来に引き継いでいくため、第5次総合計画に掲げるまちの将来像と私の新たな5つの約束の実現に向けて全力で取り組む所存です。

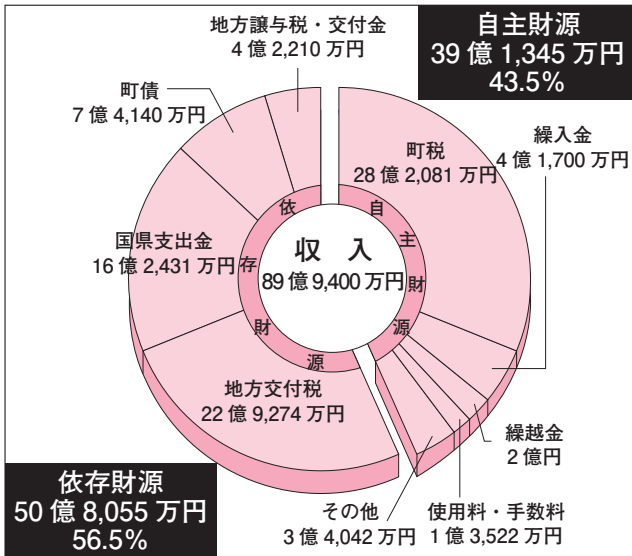
行財政経営の方針

平成25年度予算には、「今できること 今しなければならぬこと 今しかできないこと」を着実にやり遂げるための事業を盛り込んでおり、これらの事業を進めていくために、平成22年度から取り組んでいる「事務事業見直し・行政組織改編実行計画」を今後も着実に実行し、より効果的かつ効率的な行財政経営への転換を図っていきます。

また、第5次総合計画に掲げる事業を実現するため、常に国の政策の動向等を把握しながら補助金等を最大限に活用しつつ、効果的に事業進捗を図るとともに、健全な財政状況を維持するため、限られた財源を効果的に配分し、実効性の高い行財政経営を行ってまいります。

平成 25 年度一般会計予算 89 億 9,400 万円

平成 25 年度の一般会計当初予算は 89 億 9,400 万円。前年度より 1 億 8,000 万円 (2.0%) 減少しました。



収入

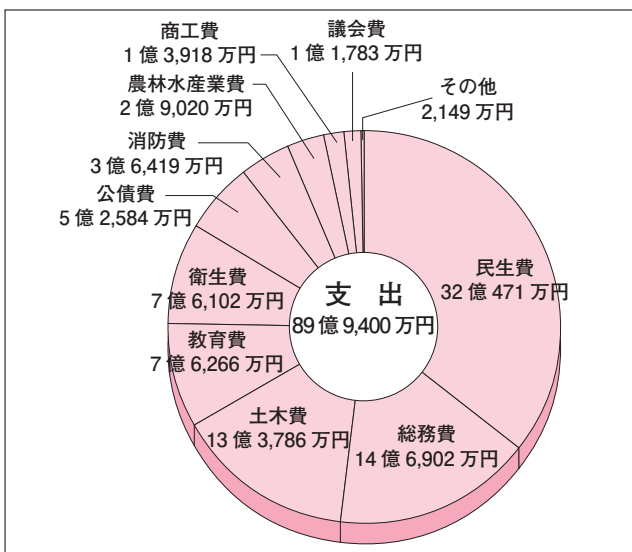
町税 平成 24 年度からの年少扶養控除廃止に伴い、個人住民税が増えたことなどで、前年度より 7,025 万円 (2.6%) 増加

地方交付税 国の計画や平成 24 年度の状況を踏まえて、前年度より 645 万円 (0.3%) 増加

国庫支出金 自立支援サービスの負担金などが増加するが、J R 海老津駅南側道路等整備事業費の減少などで補助金などが減ったため、前年度より 1 億 1,894 万円 (10.2%) 減少

町債 平成 24 年度補正予算への事業の前倒しなどで、前年度より 1 億 6,720 万円 (18.4%) 減少

支出



民生費 障害者福祉費や福岡県介護保険広域連合への負担金が増えたことなどで、前年度より 3,400 万円 (1.1%) 増加

商工費 地域交流センターの設置や、観光協会の法人化に伴う費用などで、前年度より 2,044 万円 (17.2%) 増加

土木費 J R 海老津駅南側道路などの整備事業費が減少することなどで、前年度より 2 億 5,183 万円 (15.8%) 減少

教育費 小中学校の耐震化事業が終了したことなどから、前年度より 5,302 万円 (6.5%) 減少

そのほかの会計

特別会計

会計名	予算
国民健康保険事業	39 億 9,204 万円
後期高齢者医療	5 億 2,065 万円
住宅新築資金等貸付事業	78 万円

公営企業会計

会計名		予算
水道事業	収益的収入	4 億 9,578 万円
	収益的支出	4 億 7,914 万円
	資本的収入	1 億 5,720 万円
	資本的支出	3 億 5,626 万円
下水道事業	収益的収入	7 億 8,209 万円
	収益的支出	7 億 5,562 万円
	資本的収入	6 億 6,097 万円
	資本的支出	9 億 6,471 万円

第5次総合計画の3つの将来像ごとに主な事業を紹介します

輝き

- 三里松原海岸の侵食対策など 191万円
- 荒廃森林の再生 998万円
- 町有林の整備など 240万円
- 環境保食リーダーの養成や啓発など 273万円
- 資源ごみ、生ごみ回収の奨励など 883万円
- 農業用施設への発電施設の整備 1千万円
- 浄化槽設置の補助 2千62万円
- 新規就農者の支援 1千23万円
- 中山間地域の農業支援 1千173万円
- 農業機械や農業施設購入の支援 2千718万円
- 鳥獣加工処理施設の運営費負担金など有害鳥獣対策 243万円
- 漁業振興支援 160万円
- 地域交流センターの管理運営 1千117万円
- 商工会の活性化を支援 1千343万円
- 観光の推進 1千594万円
- 観光施設の整備 644万円
- 企業誘致の推進 632万円

安全安心

- 空き家バンクシステムの運営 17万円

- 中心市街地の活性化 531万円
- JR海老津駅南側道路などの整備 5億3千110万円
- 町道の改良 3千539万円
- 橋梁長寿化修繕計画の策定 1千200万円
- 排水路の整備 5千760万円
- 町営住宅の管理 4千500万円
- 公園の管理や遊具の整備など 2千641万円
- 情報プラザの運営 6千580万円
- コミュニティバスの運行 5千399万円
- 社会福祉協議会の支援 3千482万円
- いこいの里の運営 6千671万円
- 高齢者の予防接種の実施 1千455万円
- がん検診など各種検診の実施 2千631万円
- 第2次健康増進計画の作成 531万円
- 老人憩の家の管理 2千110万円
- 介護予防サービスの実施 3千807万円
- シルバー人材センターの支援 1千665万円
- 敬老事業の実施 3千309万円
- 重度障害者の医療費の負担 6千709万円
- 障害者への生活支援 2千517万円

- 要介護者の支援 4億1千50万円
- 自立支援医療・補装具の給付 5千76万円
- 介護保険事業の実施 3千823万円
- 福岡県介護保険広域連合への負担金など 3億8千894万円
- 土砂災害ハザードマップの作成など 574万円
- 自主防災組織の育成 100万円
- 消防車両の購入 605万円
- ひとり親家庭の医療費の負担 1千860万円
- 子どもの医療費の負担 8千398万円
- 乳幼児などの予防接種の実施 6千215万円
- 乳幼児・妊婦健康診査の支援 3千67万円
- こども未来館の運営 2千514万円
- 届出保育施設保育料の支援 360万円
- 児童手当の支給 5億4千44万円
- 保育所などの運営 2億8千114万円
- 学童保育所の運営 3千395万円
- 私立幼稚園への就園支援 7千600万円

心の豊かさ

- 吉木小体育館の改修工事など 2千334万円
- 校庭の芝生化(吉木小・内浦小) 3千697万円
- 小中学校給食の実施 5千815万円
- 岡垣サンリーアイの運営 2億4千446万円
- 岡垣サンリーアイの改修など 5千万円
- 町民文化祭の支援 200万円
- 総合グラウンドテニスコートの整備など 1千281万円
- 公民館講座の実施 327万円
- まつり岡垣の支援 630万円
- 文化財保存展示室の運営 93万円
- 人権・男女共同参画の啓発 581万円

計画の推進

- 各区分行政事務委託料 1千969万円
- コミュニティ活動保険の加入 294万円
- 自治公民館の活動支援 1千203万円
- ボランティアセンターの運営 825万円
- 広報の発行など 748万円
- 地域づくり交付金の交付 524万円
- 岡垣町のPRの推進 514万円

特集② まちづくりと財政運営！

～「びわりん」と「びわすけ」の財政のはなし～

町のイメージキャラクター「びわりん」と「びわすけ」が、平成25年度に進める事業と国の経済対策の活用などを説明します。

平成25年度の岡垣町の当初予算が決まったよ。
いくらになったの？
総額で89億9千400万円だよ。
前年度の当初予算額よりも1億8千万円減っているね。
確かに当初予算の比較ではそうなっているけど、平成25年度の予算はいつもの予算とはちよつと異なる部分があるんだよ。

【登場キャラクターの紹介】

びわりん
好奇心旺盛な女の子



びわすけ
岡垣町のことなら何でも知っている男の子

国の緊急経済対策に伴う事業



どういうこと？



国は、平成24年度に緊急経済対策のための補正予算を決定したんだ。この国の緊急経済対策に伴って、岡垣町でも平成25年度の当初予算に計上する予定だった事業などを3月の補正予算に前倒ししたから単純には比較できない部分もあるんだよ。



どうして事業を前倒ししたの？



国の経済対策を活用することで、国からの補助金が交付されるなどして、町の負担が少なくなるからだよ。前倒しした事業の内容は次のとおりだよ。

国の補正予算などに伴う前倒し事業

- 防犯灯の整備 250万円
- 岡垣サンリーアイ駐車場の拡張整備 9千291万円
- ハイブリッド太陽灯の設置 830万円

■ 公共施設の耐震診断（役場庁舎など7施設） 1千953万円



- 農業水利施設の整備 2千959万円
- 東黒山排水機場の整備 1千509万円
- ため池の整備 605万円
- 農業用水路の改良 1千206万円
- 道路の舗装工事 500万円
- J R 海老津駅南側道路などの整備 3億9千779万円
- 地震・津波ハザードマップの作成 600万円
- 戸切小学校体育館の改修 2千282万円



■都市公園の整備

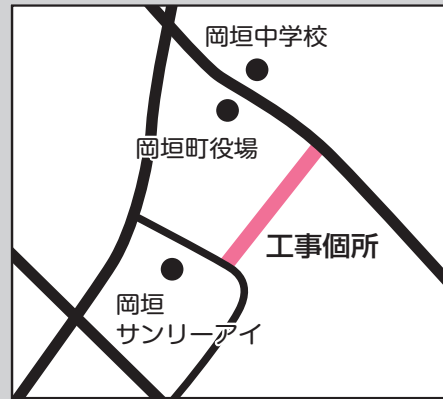
1億2千25万円



■岡垣東中学校校舎の耐震補強工事
3千826万円



■高齢者等の買い物支援（移動販売）
車両購入補助）
100万円



■井堀稗田線の道路整備
1億2千330万円

事業費の財源

○ 平成25年度は、当初予算に計上された事業とこれらの事業を合わせて進めていくことになるんだよ。

○ そうなんだ。でもこんなに負担も大きくなるじゃない？

○ 町の負担が全くないわけではないよ。でも前倒しした事業は、どれも岡垣町のまちづくりに欠かせない事業ばかりで無駄な事業は一つもないんだ。だから、国の経済対策がなくても、平成25年度以降に事業に取り組みまないといけないかったんだ。

○ じゃあ、国からの補助金などがなかったら町がもっと多く負担しなければならなかったんだね。

○ そのとおりだよ。国の経済対策の補助金などを十分に活用し町の負担を減らした上で、必要な事業に取り組むことにしたんだ。次のグラフが国の経済対策に伴って補正予算に計上された事業費の財源の内訳だよ。事業費の半分以上の額が国からの補助金などで交付される見込みなんだ。

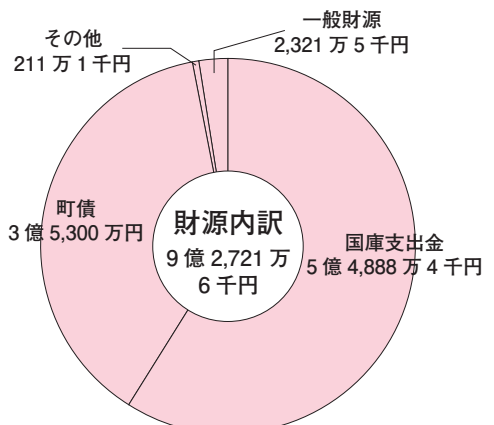
岡垣町の町債

○ 財源として町債があるけど、町債は返済しないといけないんだよね。

○ そうだよ。町債は家庭でいえば家を建てる時とか、車を買うときにローンを組むようなイメージで考えればいいんだよ。町債が増えたと返済するのが大変にならないの？

○ そうだね。毎月のローンの返済額が大きければ家計が苦しくなるよね。

○ 岡垣町の町債はどのくらいあるの？



グラフ1：事業費の財源の内訳

※事業費の総額は、平成24年度岡垣町一般会計補正予算(第5号)において計上した継続費(平成24年度分)および繰越明許費の合計額

表1：県内60市町村の住民1人当たりの起債残高

順位	市町村名	住民1人当たりの起債残高
1	岡垣町	18万1千円
2	志免町	20万5千円
3	那珂川町	21万8千円
4	行橋市	21万1千円
5	須恵町	22万0千円
7	水巻町	23万0千円
16	遠賀町	29万9千円
40	芦屋町	44万6千円
県内平均		61万9千円

※福岡県公表の平成23年度普通会計決算数値を基に起債残高の少ない順に記載しています。

表1を見てごらん。これは県内の60市町村の住民1人当たりの起債残高だよ。岡垣町は県内で最も少ないんだよ。すごいね。

それに町債の内訳を見てみると、臨時財政対策債の割合がすごく高いんだよ。

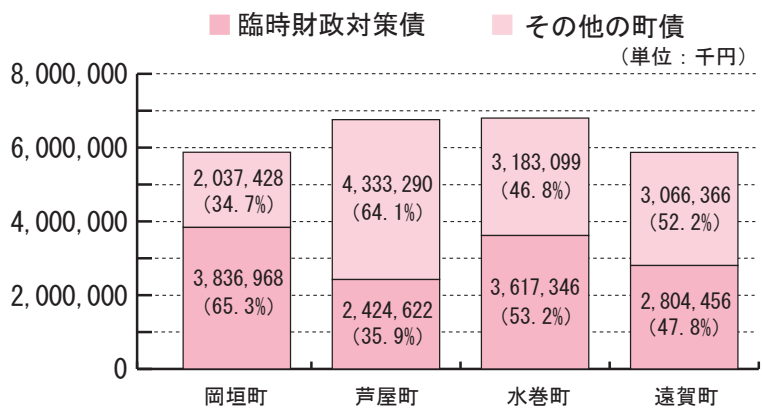
臨時財政対策債って何？

臨時財政対策債はね、国の財政事情によって、地方交付税として町に入ってくるお金

が足りない場合に、その一部を町債に替えているものなんだ。臨時財政対策債の返済に必要なお金は、今後、地方交付税として町に入ってくるようになっていくんだよ。グラフ2を見てごらん。平成23年度の決算で、この臨時財政対策債が岡垣町の町債残高のうち65.3%を占めているんだ。

じゃあ、岡垣町が道路や河川、施設などを建設するために借入れした町債の残高は、全体の34.7%しかないってこと？

グラフ2：遠賀郡4町との町債内訳の比較（平成23年度決算）



そのとおりだよ。それだけ岡垣町が独自に借入れした町債が少ないということなんだ。

町債の返済の財源

臨時財政対策債の返済に必要なお金は地方交付税で国から入ってくるのは分かったけど、それ以外の町債の返済は町が自分で払わないといけないの？

町債の返済には、返済額を全て町で負担するものほ

かに、返済額の一部が地方交付税として国から町に入ってくるものなど色々あるんだ。

じゃあ、町の負担を減らすためには国からお金が入ってくる町債を借りないといけないね。

そうだね。岡垣町はこれまでも、町の負担を少しでも減らすことを考えながら、最小限の借入れで効率的な財政運営を行ってきたんだ。

一言で町債って言っても、今後の町の負担が違ってくるんだね。

そのとおりだよ。そして、今回の国の経済対策に伴う事業の前倒しについても同じことが言えるんだ。今回、国の経済対策を活用して事業を進めることで、平成25年度以降に事業を進めた場合と比べて町債の返済にかかる町の負担を大きく減らすことができるんだ。

まちづくりと財政運営

そうなんだ。でも、どうしてこれらの事業を進めていく必要があるの？

岡垣町のまちづくりは、平成23年度からスタートした「住みたい・住み続けたい・みんな

が輝く元気なまち「岡垣」を基本理念とする第5次総合計画に沿って進められているんだ。この計画は、将来僕たちの岡垣町をどのような「まち」にしていきたいのか、そのためにどんなことをしていくのかをまとめた計画で、この計画に掲げられているまちの将来像の実現のためにいろいろな事業に取り組んでいるんだ。



将来像の実現のためにどんなことが必要なの？



一言では言えないけど、住民が安心して安全に暮らしていくための行政サービスを提供するためには、それに必要な財源を確保することが必要だよ。そのため、まずは支出の削減に取り組む必要があるんだ。岡垣町では、人件費を削減したり、公共施設の管理の方法の見直しをしたりして支出の削減に取り組んでいるけど、今後も計画に基づいて、さらなる支出の削減に取り組んでいくことが必要だね。



支出を減らせば収入が減っても大丈夫だからね。



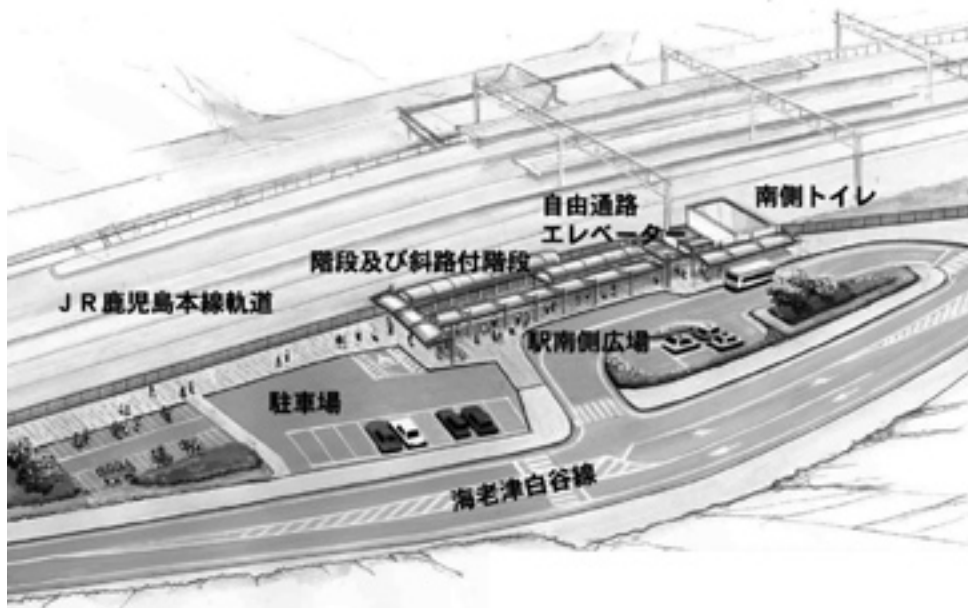
そんなに簡単ではないよ。いくら支出の削減に取り組んでも、限界があるからね。特に近年は、自然災害が多発したり、全国的に少子高齢化が進展したり



財源を確保するためにどんな取り組みをしているの？

しているだろう。そういう中で、防災対策や住民生活に必要な医療、福祉などに必要な支出は増加しているんだよ。だから、それらに必要な財源を確保する取り組みがすごく大切なんだ。

海老津駅南側広場完成イメージ



将来に向けて安定した財源を確保するために、岡垣町では、定住人口の増加と企業誘致を進める必要があると考えているんだ。その重要な取り組みの一つとして、引き続きJR海老津駅南側の開発を進めていくよ。平成25年度は、国の経済対策や当初予算



に計上した事業費を使って、海老津・白谷線道路の工事や自由通路の工事などを実施するんだよ。それには事業費がかかるよね。大丈夫？



そうだね。町の負担だけでなく、事業を進めるのは厳しいよね。だから、国からの補助金などを十分に活用して事業を進めているんだ。JR海老津駅南側の開発についても、今回の国の経済対策を活用することで、町の負担が大きく軽減されるんだよ。



事業を進めていく時には、どんなことをするのかだけではなくて、いつ取り組むのか、どのように進めるのかについても考えないといけないね。



そうだね。今後も国の補助金などを最大限に活用し、効果的に事業を進めることによって、第5次総合計画の実現に向けて「今できること、今しなければならぬこと、今しかできないこと」に取り組んでいくんだよ。

問い合わせ 総務課へ

